



改正
繪入

南無 在所記

大和良之丞 在四路古哥集
 春日社 惣社 尊海
 東大寺 社 尊海
 二月堂 觀世音 圓縁 附
 大佛殿 立縁 苑 附
 興福寺 始 蓋 遠 立 附

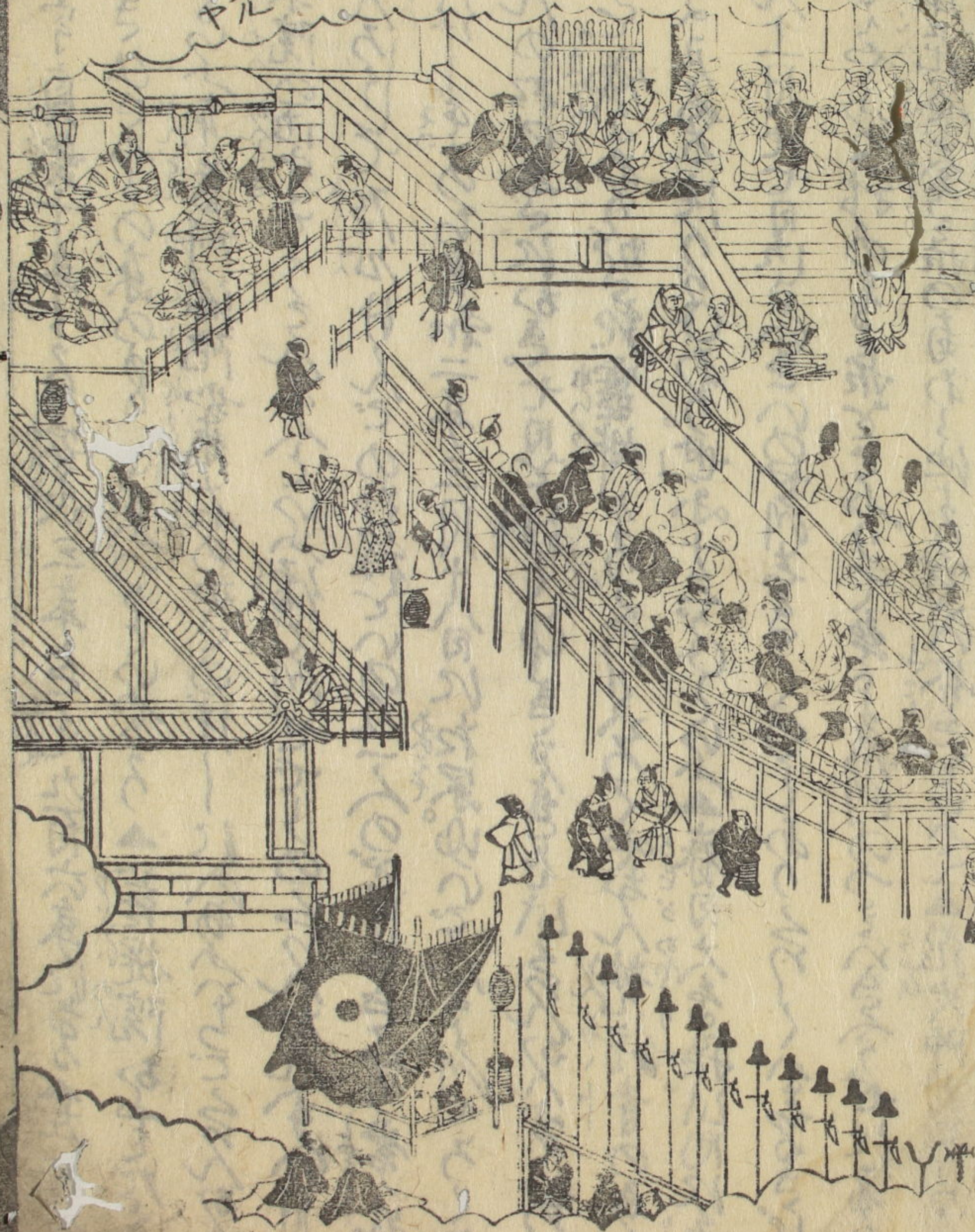
奈良八景



▲南都 猿渡の池ハ春日明神の池なみの池なり。天の帝ニ
 此の池にうみまの宮と云ふ。天の宮と云ふは、天の宮と云ふは、
 天の宮と云ふは、天の宮と云ふは、天の宮と云ふは、
 ▲東女宮 けの西のこにあり ▲夜樹榊 うのあまとおびけし
 夜と云ふは、夜と云ふは、夜と云ふは、夜と云ふは、夜と云ふは、
 糸と云ふは、糸と云ふは、糸と云ふは、糸と云ふは、糸と云ふは、
 ▲南大門 二王ありけり。毎年二月七日より十日まで、新羅多
 羅の役者おはせむ。天下悉平國土安全の國魂。清和天皇の

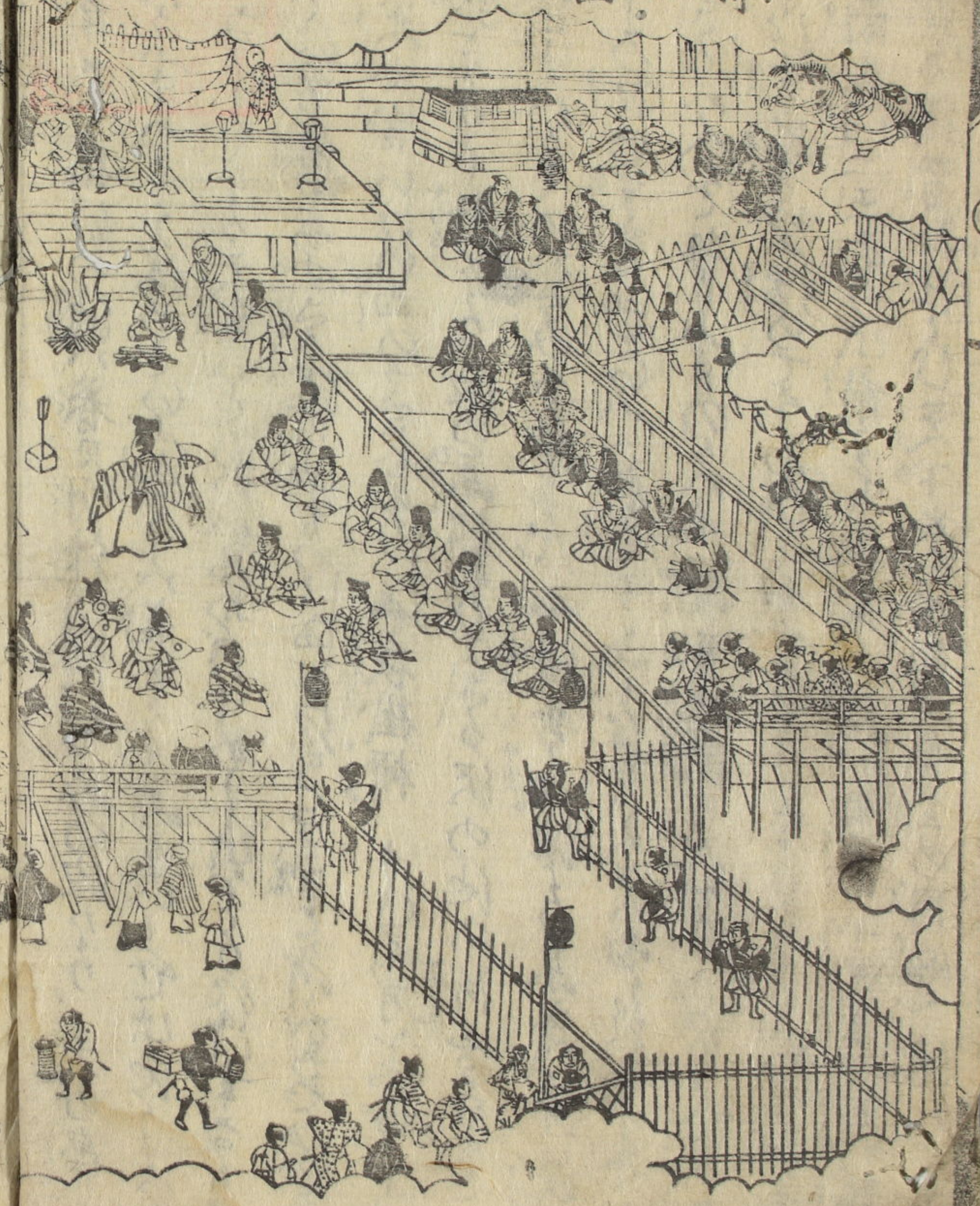
ガクマル
コンヤル

福寺南大門

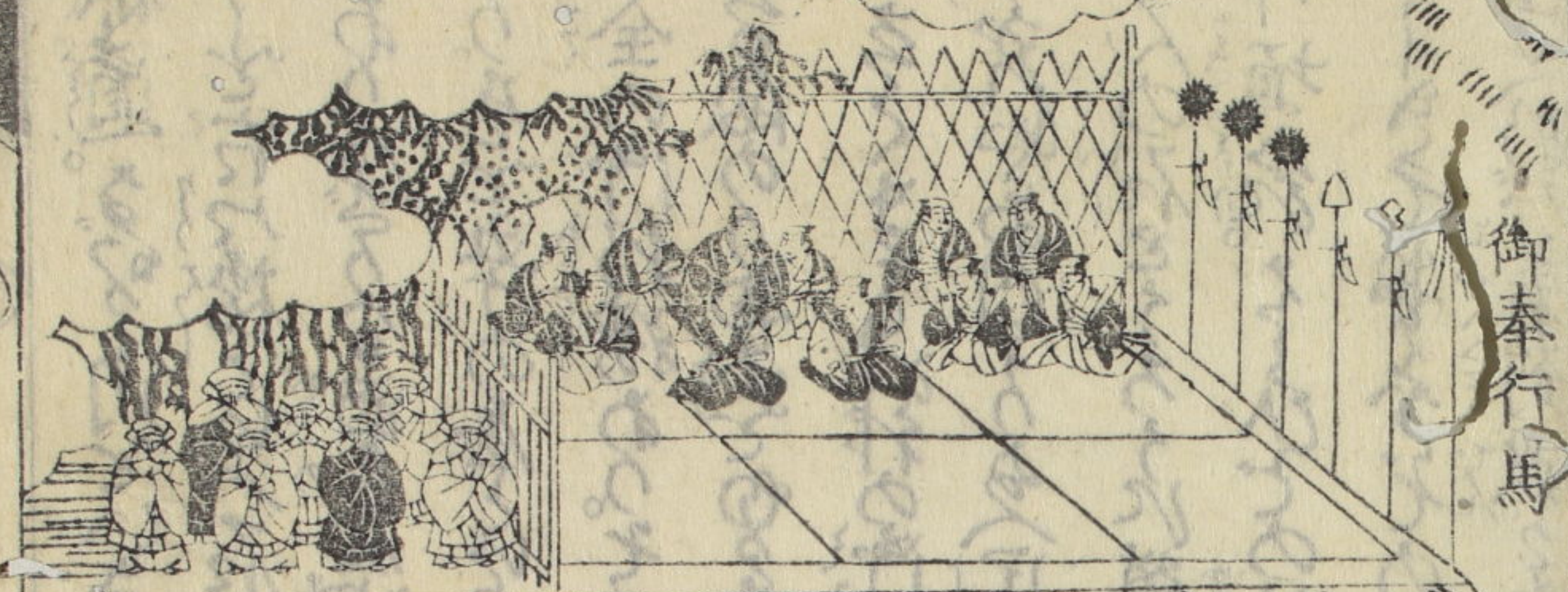


南都興

薪能圖



御奉行



御奉行馬



仕下赤衣人

春日
若宮
御祭禮

戸上公人

拍手人

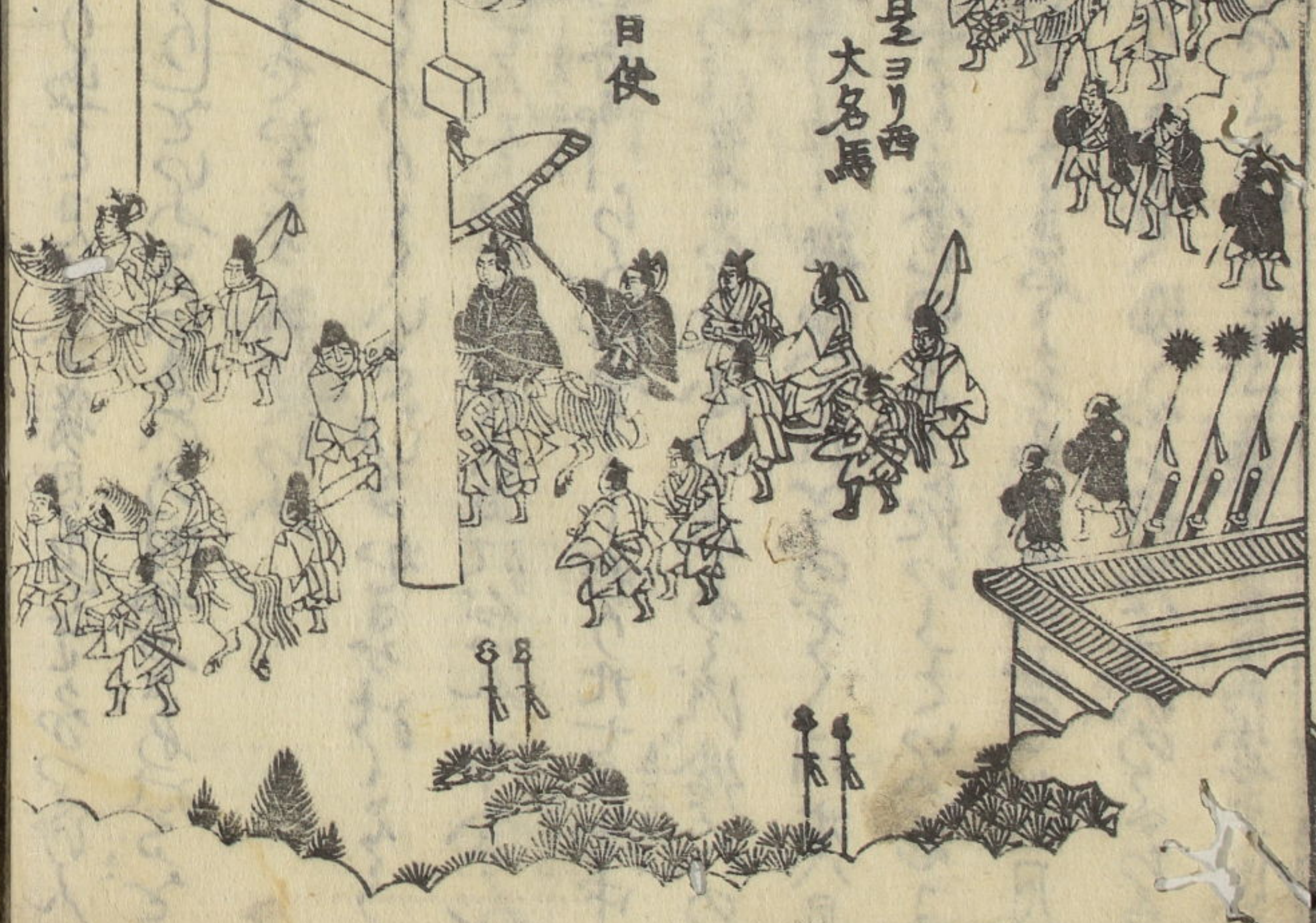


小泉家中
高取家中
伊賀家中
郡山家中



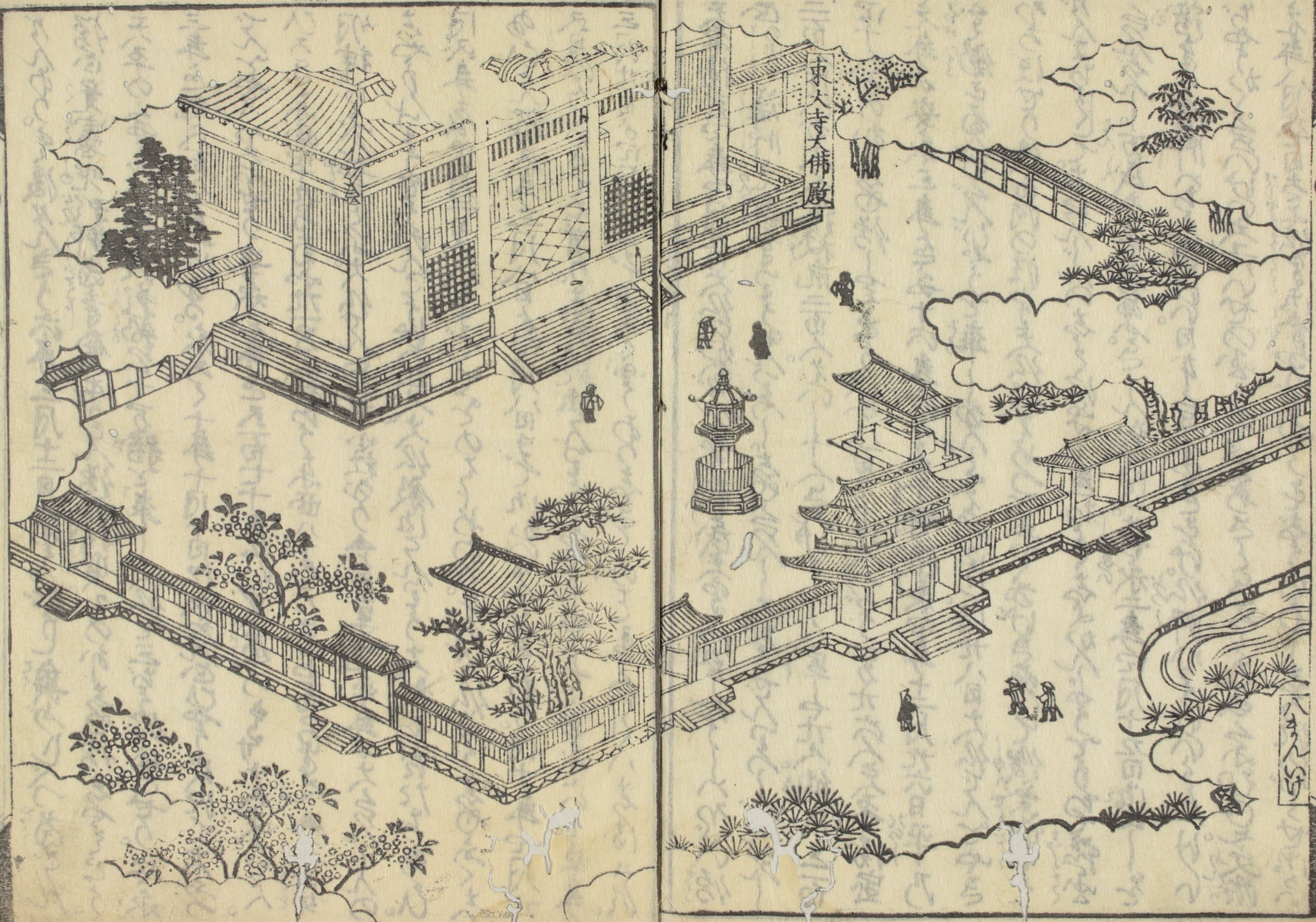
是ヨリ西
大名馬

日使









東大佛殿

八丈九寸

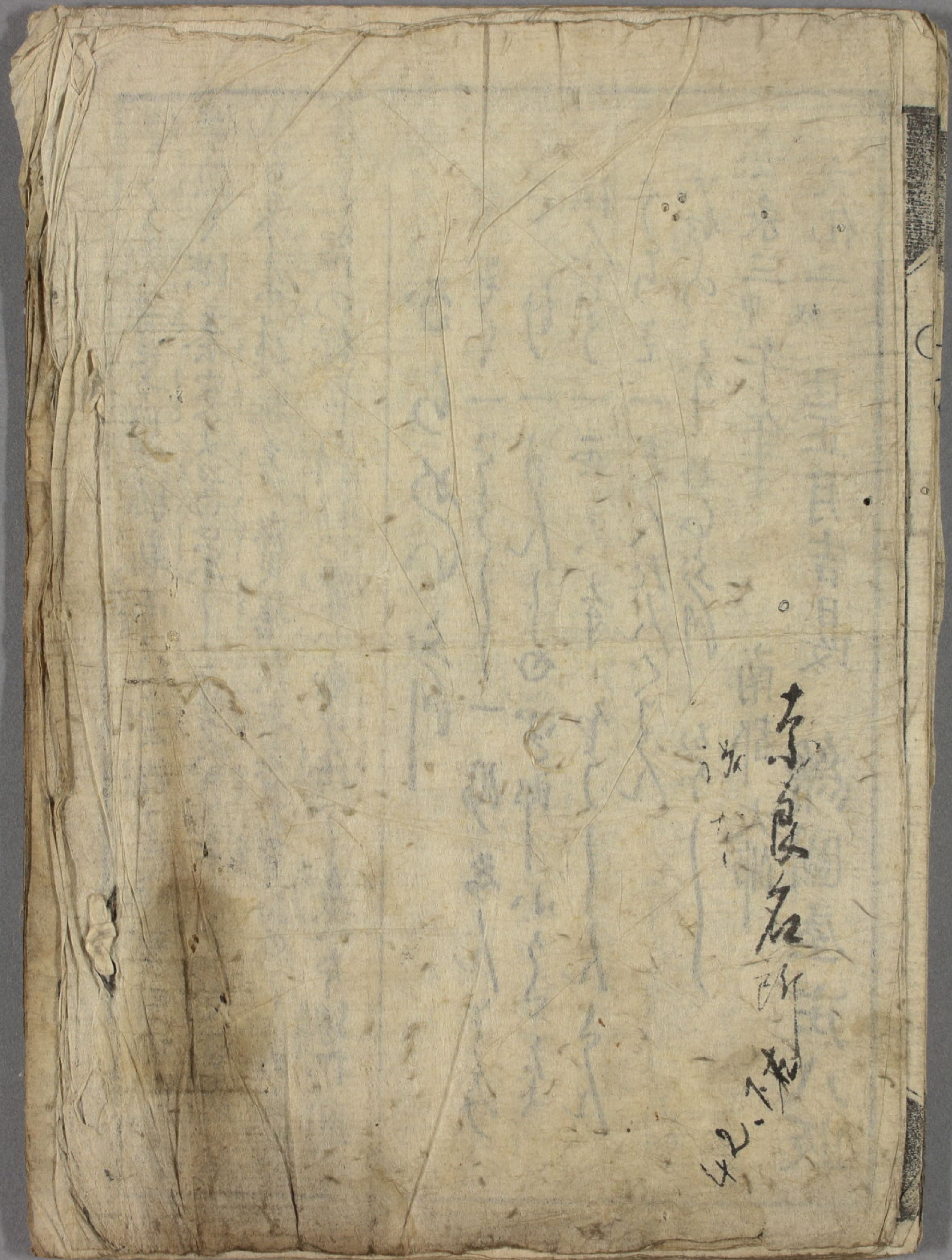
六百五十二石八斗余ハ祿宣中ニある春日の中より八斗五斗に
なりありしより式方なりしなり▲あるもくしとありしは
多量なりしよりひきまらうのまらうなりしとありしは毎月
ありしよりありしよりありしよりありしよりありしよりありし
もはありしよりありしよりありしよりありしよりありしよりありし
ひきまらうのまらうなりしよりありしよりありしよりありしよりありし
しりありしよりありしよりありしよりありしよりありしよりありし
天保七年にけいせんありしよりありしよりありしよりありしよりありし
物舎よりありしよりありしよりありしよりありしよりありしよりありし
の石よりありしよりありしよりありしよりありしよりありしよりありし
ありしよりありしよりありしよりありしよりありしよりありしよりありし
▲あるもくしとありしよりありしよりありしよりありしよりありしよりありし

るありしよりありしよりありしよりありしよりありしよりありしよりありし
六町四方のがんりし今もきりしなり▲新業師寺
史新業師寺ハ西宮天皇勅額なりしよりありしよりありしよりありし
昔時新業師寺と号して秘佛ハ長三人余の業師ハ新業師寺なり
聖徳太子の御代ニ天皇令の御像なり天保十七乙酉の秋
皇太后眼疾と患せしめありて玉體もつらむに故天皇勅額のかげにせ
りありし別速より平愈ありしよりありしよりありしよりありしよりありし
師文六の御像と遺せし今の本仏の業師ハ新業師寺なりしよりありしよりありし
ありて新業師寺と勅額と下しありし別速より平愈ありしよりありしよりありし
故にけいせんの御眼疾ハ大ありしよりありしよりありしよりありしよりありし
ありしよりありしよりありしよりありしよりありしよりありしよりありし
中興寺ハ法堂本尊の御像有之とありしよりありしよりありしよりありしよりありし

▲佐保山眉間寺文慶山八人皇二十二代聖武天皇の御代に於て
 所造佛像の因縁をりて天皇太子大弘殿中幸内侍は佐保山神
 の異化たるを御公藤原の居宮の侍為と勅詔ありて伽藍を造
 業し本堂中より阿弥陀如来の御像を奉出せ給ふ事ありて
 行奉并御彫刻之初に眺み寺と号し後小皇帝此山より御幸な
 見置かり故眺望寺と勅額賜之給ふ事ありて長寛年中村上天皇御宇
 御廟の前より化人現れ眉間より光明と教奉す時身有て化に其
 臨み舍利式粒ありは由速に奉聞よ及びり帝奇物の事感
 感ありて眉間放光の瑞相と云眉間寺と勅額を賜ふ事あり
 重帝ハ観音の化身なりと云りて其威の星をわと給ふ事あり
 聖徳太子なる也國又凶暴なりと云りて其威の星をわと給ふ事あり
 是の如く是の如く行基菩薩は羅門傍に良辨僧正次
 のどく文殊菩薩も彌勒并の愛作して四聖同時出世
 佛法も浩泰実より崇へる事ありて其威の星をわと給ふ事あり
 八百年來建物多寶塔觀音堂等ありて又六百
 年と縁の縁に神祇の靈山ありて其威の星をわと給ふ事あり

からはめい
 ぐそく
 さけり
 海んぢう
 うららこ
 ねのふり

安永三
 文化二
 世正月吉日改
 南都大佛
 繪圖屋庄八版



東良名所
紀元